

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	①OIST等を核とした共同研究の推進等によるイノベーション創出拠点の形成
			施策の小項目名	○「知」の創出及び活用の促進
主な取組	大学等が行う共同研究等の推進		対応する成果指標	大学等が共同研究費として民間企業から受け入れた金額
施策の方向	<p>・県内大学等における「知」の創出及び活用を促進するため、OIST、琉球大学、名桜大学、沖縄高専、うるま市州崎地区等にイノベーション創出拠点の形成を促し、共同研究等の継続的かつ弾力的な支援や、県内大学等と公的研究機関の研究ネットワークの充実・強化を図るとともに、異なる分野間のマッチングや産学連携等を推進することで、オープンイノベーションの促進に取り組みます。また、国内外にある大学等との研究ネットワーク基盤の構築や沖縄健康医療拠点との連携、県民に向けたOISTの研究内容や成果の普及啓発等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
県内大学等が持つ有望な研究シーズを事業化に繋げるため、企業や研究機関との連携により更に大きく展開するための共同研究を支援する。	県,大学,事業者,支援機関	成果が今後特に影響力を持ちうる研究課題の広範な支援			
		共同研究等の支援件数(累計)			
		4件	4件(8件)	4件(12件)	
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課		【 098-866-2560 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業			予算事業名	沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	78,060	424,374の一部	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	416,155の一部
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県内大学等の共同研究を5件支援した。 なお、沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業 で本取組のほか2取組を行っている。</p>				<p>県内大学等の共同研究を支援する。 なお、沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業 で本取組のほか2取組を行っている。</p>		

活動指標名	共同研究等の支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	3件	3件	5件	4件	100.0%	順調	県内大学等の研究シーズを5件採択し、企業等との共同研究を支援した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>R4年度は、目標値4件に対し実績値5件であることから順調と判断した。 各共同研究は概ね計画どおり実施されており、ヒト幹細胞分泌物のパウダー化技術の開発、創薬に有用な沖縄生物資源の探索、ニオイセンサによる泡盛醸造マルチセンサの開発など、基礎研究の発展、事業化に向けた応用研究等により、これらの研究を活用した県内産業への波及が期待される。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>各研究分野の専門家で構成する機関（選定委員会）において、県内大学等の基礎研究を対象とした研究を選定し、研究の重点的且つ継続的な支援を行う。</p>	<p>各研究分野の専門家で構成する選定委員会を2回開催し、県内大学等の基礎研究を対象とした共同研究を5件採択した。共同研究の更なる展開に向け継続した支援を実施する。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	研究成果が見込める高いポテンシャルを持った県内大学等の研究シーズの掘り起こしと、当研究シーズを活かした事業化支援が必要である。
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	学術研究が効果的、効率的に事業化へ発展し、地域経済へ波及するまでには、研究開発の発展・拡大、企業参画等の段階が必要であり、時間とコストがかかる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	シーズの目利きや企業支援系の有識者により、研究シーズの選定や事業評価等を行い、有望なシーズの採択と事業化促進を図る。
① 執行体制の改善	共同研究、企業連携等の更なる展開のため、継続して研究開発を支援する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	①OIST等を核とした共同研究の推進等によるイノベーション創出拠点の形成
			施策の小項目名	○「知」の創出及び活用の促進
主な取組	ハワイを含むアジア・太平洋島しょ国等との研究ネットワーク基盤構築		対応する成果指標	大学等が共同研究費として民間企業から受け入れた金額
施策の方向	<p>・県内大学等における「知」の創出及び活用を促進するため、OIST、琉球大学、名桜大学、沖縄高専、うるま市州崎地区等にイノベーション創出拠点の形成を促し、共同研究等の継続的かつ弾力的な支援や、県内大学等と公的研究機関の研究ネットワークの充実・強化を図るとともに、異なる分野間のマッチングや産学連携等を推進することで、オープンイノベーションの促進に取り組みます。また、国内外にある大学等との研究ネットワーク基盤の構築や沖縄健康医療拠点との連携、県民に向けたOISTの研究内容や成果の普及啓発等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国際的な視点を取り入れた共同研究・産学連携等の新たな研究創出及びアジア・太平洋島嶼地域との国際的な研究ネットワークの構築を目的として、県内研究者とハワイを含むアジア・太平洋島嶼地域の研究者との研究交流を実施する。	県,大学,関係機関等	国外の研究シーズや資源等を活用した研究、または国外研究者との共同研究等の推進に向けた支援		
		国外研究者との研究交流等支援件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄・ハワイ等アジア太平洋島嶼地域連携推進事業			予算事業名	沖縄・ハワイ等アジア太平洋島嶼地域連携推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	5,912	5,600	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	2,100
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度からアジア・太平洋地域も研究交流地域を拡大した結果、台湾、パラオ等との研究交流の実施に繋がり、国際的な共同研究の創出を推進した。				ハワイ・太平洋島嶼地域の研究者との研究交流を推進し、国際的な共同研究等の創出及び研究ネットワークの構築を図る。		

活動指標名	国外研究者との研究交流等支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		2件	2件	2件	2件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値2件に対し、令和4年度中に2件の研究交流を実施したため、順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
ハワイを含むアジア・太平洋島嶼地域の研究者と本県研究者との研究交流等を実施することにより、国際的な視点を有する共同研究・産学連携等の推進を図る。	令和4年度からハワイに加えアジア・太平洋島嶼地域に研究交流地域を拡大し、台湾やパラオ等の研究者と研究交流を実施した結果、国際的な視点を取り入れた共同研究の研究創出及びアジア・太平洋島嶼地域との国際的な研究ネットワークの構築を図ることができた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	アジア・太平洋島嶼地域に範囲を拡大し研究交流を実施したが、本県と地理的・自然的特性で多くの共通点を有する地域が多くあるため、引き続き同地域との研究交流を実施する必要がある。	⑧ その他	ハワイを含むアジア・太平洋島嶼地域の研究者と本県研究者との研究交流等を引き続き実施し、国際的な視点を有する共同研究の推進及び研究ネットワークの構築を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	①OIST等を核とした共同研究の推進等によるイノベーション創出拠点の形成
			施策の小項目名	○「知」の創出及び活用の促進
主な取組	県民に向けたOISTの研究内容や成果の普及啓発		対応する成果指標	大学等が共同研究費として民間企業から受け入れた金額
施策の方向	<p>・県内大学等における「知」の創出及び活用を促進するため、OIST、琉球大学、名桜大学、沖縄高専、うるま市州崎地区等にイノベーション創出拠点の形成を促し、共同研究等の継続的かつ弾力的な支援や、県内大学等と公的研究機関の研究ネットワークの充実・強化を図るとともに、異なる分野間のマッチングや産学連携等を推進することで、オープンイノベーションの促進に取り組みます。また、国内外にある大学等との研究ネットワーク基盤の構築や沖縄健康医療拠点との連携、県民に向けたOISTの研究内容や成果の普及啓発等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
OISTの「知」を活用し、産業振興や社会課題の解決につながる共同研究等を推進するため、OISTの研究内容や成果の普及啓発につながるイベントの開催支援等を行う。	県, 県民会議	OISTの研究内容や成果の普及啓発に繋がるイベントの開催支援		
		イベント支援件数(累計)		
		4件	4件(8件)	4件(12件)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	-□

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	大学院大学発展促進事業			予算事業名	大学院大学発展促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施		1,084	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	2,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
OISTの研究内容や成果の普及啓発に繋がるイベント (OIST主催) の開催支援を行った (支援イベント数：4件)。				OISTの研究内容や成果の普及啓発に繋がるイベントの開催支援を行う (支援イベント数：4件)。		

活動指標名	イベント支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		4件	3件	4件	4件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度のイベント支援件数の目標値4件に対し、4件の支援を実施したことから進捗状況は順調と判断した。その取組の結果、OISTの研究内容や成果の普及啓発の促進が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
県民会議の活動紹介とともに、産業界向けのOISTの研究成果や取組等に関する広報活動については、引き続き、OISTと連携・情報交換し、SNS等を活用した情報発信を推進する。	OISTと連携し、関連イベントの開催を支援したほか、広報誌の配布や、SNSを活用した若年層への広報活動を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	OISTは令和4年度にノーベル受賞者を輩出するなど、知名度も高まりつつあるが、未だOISTの活動に対する県民の理解度については充分とは言えないことから、周知を充実させる必要がある。	② 連携の強化・改善	引き続き、OISTと連携し、OISTの活動紹介とともに、産業化が期待できる研究成果等についても情報発信を強化していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	①OIST等を核とした共同研究の推進等によるイノベーション創出拠点の形成
			施策の小項目名	○「知」の創出及び活用の促進
主な取組	沖縄ライフサイエンス研究センターの管理運営		対応する成果指標	大学等が共同研究費として民間企業から受け入れた金額
施策の方向	<p>・県内大学等における「知」の創出及び活用を促進するため、OIST、琉球大学、名桜大学、沖縄高専、うるま市州崎地区等にイノベーション創出拠点の形成を促し、共同研究等の継続的かつ弾力的な支援や、県内大学等と公的研究機関の研究ネットワークの充実・強化を図るとともに、異なる分野間のマッチングや産学連携等を推進することで、オープンイノベーションの促進に取り組みます。また、国内外にある大学等との研究ネットワーク基盤の構築や沖縄健康医療拠点との連携、県民に向けたOISTの研究内容や成果の普及啓発等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄ライフサイエンス研究センターの適正な運営及び施設の維持管理を実施する。	県,事業者	入居者に対する実験機器操作指導等の技術支援		
		実験機器等の操作指導等件数(累計)		
		80件	80件(160件)	80件(240件)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	沖縄ライフサイエンス研究センター管理運営事業				予算事業名	沖縄ライフサイエンス研究センター管理運営事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
県単等	委託	0	0		主な財源	実施方法	当初予算額	
令和4年度活動内容					県単等	委託	3,763	
センター指定管理による入居企業等への技術支援を89件実施し、研究開発型企业等に対し、施設概要等の広報活動を39回実施した。					令和5年度活動計画			
センター指定管理による入居企業等への技術支援等を5件以上実施する。					予算事業名	沖縄ライフサイエンス研究センター事業		
予算事業名	沖縄ライフサイエンス研究センター事業				R5年度			
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	15,989	12,962		県単等	委託	12,603	
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
施設の魅力・機能維持を図るため、雨漏り対策工事や指定管理者制度運用委員会の開催等により適正な維持管理を行った。					施設の維持管理を図るため、施設の修繕や指定管理者制度運用委員会の開催により適正な維持管理を図る。施設概要等の広報活動を3回以上実施する。			
活動指標名	実験機器等の操作指導等件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	117件	80件	89件	80件	100.0%	順調	入居企業等利用者に対し、共用機器操作指導等の技術支援や、事業化に向けた支援を行うなど、指定管理者によるサービスや利便性の向上を図っている。 県内外のイベント等に出展するなどの広報を行っている。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>入居企業等への共用機器操作指導等の技術支援等を計画値80件に対し89件実施するとともに、研究開発型企業や研究機関等の集積を促すため、県内外展示会等を含む広報活動を計画値3回に対し39回実施し、令和5年度3月末現在で入居率が100%となっていることから、順調とした。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 入居企業の事業化を促進するため、ビジネスプランに関する助言及び企業や大学等の研究機関とのマッチングの機会の提供を行い、支援の充実を図る。 施設、設備、共用機器等に不具合が生じた際は、速やかに業者に修繕の発注を行う。 ホームページ、各種セミナー、県内外展示会等で広く周知を行い、施設、設備、共用機器等の利用の促進に向け、研究開発型企業等への積極的な広報活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 入居企業の事業化を促進するため、ビジネスプランに関する助言を個別に行い、県内外展示会等で企業や大学等の研究機関とのマッチングの機会の提供を行った。 指定管理者と連携し必要な修繕を速やかに発注した。 県内外の展示会等に出展し、パネル及びパンフレット等を活用した、レンタルラボや共用機器の紹介を行うなどの広報活動を積極的に行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	入居企業の事業化を促進するため、ビジネスプランに関する助言及び企業や大学等の研究機関とのマッチングの機会の提供を行う必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	施設、設備、共用機器等に不具合が生じた際は、利用者に支障が出ないよう速やかに修繕を行う必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	創薬や健康食品分野の企業に対し、沖縄ライフサイエンス研究センター内の施設、設備、共用機器等の利用を促進するための広報活動を促進する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	入居企業の事業化を促進するため、ビジネスプランに関する助言及び企業や大学等の研究機関とのマッチングの機会の提供を行い、支援の充実を図る。
⑧ その他	施設、設備、共用機器等に不具合が生じた際は、速やかに業者に修繕の発注を行う。
⑧ その他	ホームページ、各種セミナー、県内外展示会等で広く周知を行い、施設、設備、共用機器等の利用の促進に向け、研究開発型企業等への積極的な広報活動に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	①OIST等を核とした共同研究の推進等によるイノベーション創出拠点の形成
			施策の小項目名	○「知」を活用した共同研究等の推進
主な取組	産学連携共同研究等の推進		対応する成果指標	大学等が共同研究費として民間企業から受け入れた金額
施策の方向	<p>・ 県内大学等、研究機関、支援機関、企業、金融機関等の産学官金が連携して、イノベーション創出拠点等で生み出された「知」や、OISTを核として国内外から本県に集積した「知」を活用し、産業振興や社会課題の解決につなげる共同研究等の推進に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
イノベーション・エコシステムの構築を目指し、大学等の研究シーズと企業ニーズとのマッチングを行うとともに、産学連携による出口志向型の共同研究等を推進する。また、出口志向型の共同研究等の成果を活用した実用化研究等を推進する。	県,大学,企業,支援機関	産学連携による出口志向型の共同研究等の支援		
		共同研究等の支援件数(累計)		
		20件	20件(40件)	20件(60件)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業			予算事業名	沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	177,075	424,374	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	416,155
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
イノベーション・エコシステムの構築を推進するため、産学連携の共同研究に対して支援を行った。				イノベーション・エコシステムの構築を推進するため、産学連携の共同研究に対して支援を行う。		

活動指標名	共同研究等の支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	16件	19件	20件	20件	100.0%	順調	支援機関 ((公財) 沖縄科学技術振興センター) にコーディネーターを配置し、県内大学等研究シーズと企業ニーズをマッチングし、企業ニーズを踏まえた大学等の共同研究を20件支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度の共同研究支援の計画値20件に対し、20件の研究支援を実施したことから進捗状況は順調と判断した。その取組の結果、大学等と企業において、事業化に向けた産学連携共同研究等の促進が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
研究成果の事業化を推進するため、産学連携共同研究の研究マネジメントや技術経営等へのコーディネーターによる支援を強化する。	支援機関 ((公財) 沖縄科学技術振興センター) において、マネジメント能力や知的財産権等に関する知見を有するコーディネーター3人を配置し、研究マネジメントや企業連携の拡大などに向けたフォローアップを行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	目標値の達成にはコーディネーターによる、研究シーズと企業ニーズのマッチング、研究マネジメント支援等が重要である。	② 連携の強化・改善	引き続き、コーディネーターによる支援を強化する必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	①OIST等を核とした共同研究の推進等によるイノベーション創出拠点の形成
			施策の小項目名	○「知」を活用した共同研究等の推進
主な取組	沖縄科学技術大学院大学SDGs社会課題解決型起業促進事業		対応する成果指標	大学等が共同研究費として民間企業から受け入れた金額
施策の方向	<p>・県内大学等、研究機関、支援機関、企業、金融機関等の産学官金が連携して、イノベーション創出拠点等で生み出された「知」や、OISTを核として国内外から本県に集積した「知」を活用し、産業振興や社会課題の解決につなげる共同研究等の推進に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>研究開発型起業家の集積を促進し、本県のイノベーション・エコシステムの構築に繋げることを目的とし、OISTがそのノウハウを活用して実施する起業家人材育成プログラム(アクセラレータープログラム)に要する経費の一部を補助し、起業に繋げる。</p>	<p>県,OIST,事業者</p>	<p>国内外の技術者を沖縄に集積・起業に向けた取組を支援</p>		
		<p>OISTが実施するアクセラレーター・プログラムの支援件数(累計)</p>		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	大学院大学発展促進事業			予算事業名	大学院大学発展促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	補助	19,797	21,446	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	23,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
歩行補助デバイスの開発を目指すコロンビアのチームとかゆみ緩和のデバイス開発を目指す大阪のチームの起業に向けた経費の一部を補助した。				農業ドローン等の開発を目指すインドのチームと森林資源管理プラットフォーム開発を目指す沖縄のチームの起業に向けた経費の一部を補助する。		

活動指標名	OISTが実施するアクセラレーター・プログラムの支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	2件	2件	2件	2件	100.0%	順調	アクセラレータープログラムでは、OISTが、世界中から研究開発型起業を目指す起業家チームを公募して2件程度選定し、約1年間、起業に向けた一連のサポートを提供する。沖縄県は経費の一部を補助している。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和4年度のアクセラレータープログラムの支援件数の目標値2件に対し、2件の支援を実施したことから進捗状況は順調と判断した。その取組の結果、OISTの「知」を活用した共同研究等の推進が図られた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	アクセラレータープログラムに採択された起業家チームの自立的な経営基盤強化を目指し、行政書士、公認会計士等の専門家による指導、特許出願にかかる相談等に要する経費を補助対象費に追加し、起業に向けた支援の拡充を図った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	起業に向けた支援の拡充により、起業家チームが外部専門家の助言を得る等して、順調に起業することができたが、イノベーション創出拠点形成のためには、当該チームの沖縄への定着と事業拡大が必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	起業したチームが沖縄に定着し、事業拡大のための資金調達等について、包括的支援を得られるようOIST、関係部局及び関係機関等との連携を促進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	①OIST等を核とした共同研究の推進等によるイノベーション創出拠点の形成
			施策の小項目名	○更なる支援が求められる分野への共同研究等の推進
主な取組	一層の支援が求められている分野の共同研究等の推進		対応する成果指標	大学等が共同研究費として民間企業から受け入れた金額
施策の方向	・県内大学等が進める感染症対策・創薬・ワクチン開発分野の研究、先端医療や健康・長寿分野の研究など、イノベーション・エコシステムの構築に向けて、更なる支援が求められている分野の共同研究等の推進に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
産業化に向け支援が求められている先端医療分野や感染症分野など、重点的な支援が求められている研究分野について、産業化や社会実装に結びつけるための研究を推進する。	県,大学,事業者,支援機関	イノベーション・エコシステムの形成に向け一層の支援が求められている分野の共同研究等支援		
		共同研究等の支援件数(累計)		
		4件	4件(8件)	4件(12件)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業			予算事業名	沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	186,048	424,374の一部	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	416,155の一部
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
一層の支援が求められている先端医療分野の共同研究を2件、感染症分野の共同研究を2件実施した。				一層の支援が求められている先端医療分野の共同研究を2件、感染症分野の共同研究を2件実施する。		

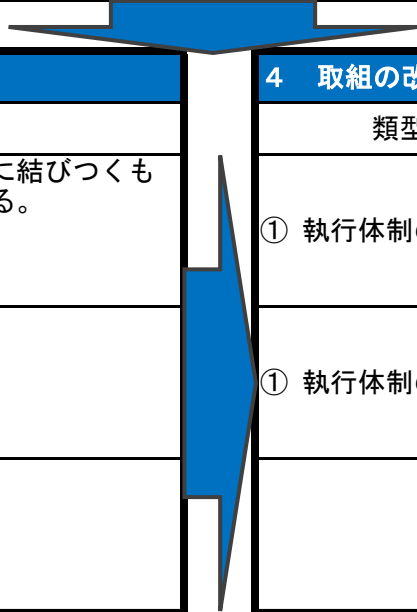
活動指標名	共同研究等の支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	5件	6件	4件	4件	100.0%	順調	一層の支援が求められている先端医療分野及び感染症分野の共同研究について、先端医療分野2件、感染症分野2件の計4件を支援した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>共同研究の支援件数の目標値4件に対し、4件支援したため順調とした。 先端医療分野のうち、再生医療については、幹細胞投与に係る臨床研究を行うために必要な、厚生労働省の承認を得るために取り組んでおり、実用化に向けた取り組みが着実に進行している。 感染症分野については、動物用ワクチン開発のため、タンパク質可溶性を高める目的で複数の抗原を構築し、解析に取り組んでおり、着実に進行している。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>先端医療分野の再生医療研究については、引き続き、これまでに開発してきた技術の応用に向けた研究開発に取り組む。疾患ゲノム研究については、関係機関等と連携の上、これまでに収集した生体試料の解析を進め、生活習慣病の原因となる遺伝子の同定に向けて取り組む。 感染症分野については、有識者らの助言等を踏まえて、引き続き、これまでに開発してきた技術の応用に向けた研究開発に取り組む。</p>	<p>先端医療分野の再生医療研究については、臨床向け既存技術のさらなる研究開発と法令に基づく許認可に向け取り組んだ。疾患ゲノム研究については、生体試料の採取及び解析を進め、生活習慣病の原因となる遺伝子の同定に取り組んだ。 感染症分野については、有識者からの助言等を踏まえて、これまでに開発してきた技術の応用に向けた研究開発に取り組んだ。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	支援している共同研究が、産業化や社会実装に結びつくものかどうか有識者等に評価してもらう必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	支援している共同研究に対し、期末に有識者等からなる評価委員会を開催し、共同研究の継続可否等について意見を聴取し、反映する。
① 執行体制の改善	より一層の支援が求められている先端医療分野及び感染症分野の共同研究について、基礎から応用まで幅広い段階を対象に支援する。



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	②研究成果等の知的財産化・技術移転の推進
			施策の小項目名	○知的財産の創造・保護・活用に向けた普及啓発や地場産業の高度化
主な取組	科学技術振興総合推進事業		対応する成果指標	県内からの特許等出願件数(累計)
施策の方向	・県内大学等や県立試験研究機関が持つ研究シーズや成果を本県の産業振興に結び付けていくため、知的財産権制度の活用や技術移転を推進するとともに、知的財産の創造・保護・活用に向けた普及啓発や企業ニーズ等を見据えた地場産業の高度化等に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内産業ニーズに応じ、県立試験研究機関の研究員のキャリアやスキルを向上させるため、研究機関への派遣研修、国際学会への派遣などを行う。 試験研究機関の研究成果を県内産業界において戦略的に活用するために特許等の知的財産権の獲得を行う。	県,大学等,公設試等	研究員の資質向上のための研修等への派遣、研究成果の権利化推進及び効果的な運用		
		県立試験研究機関研究員の研修等への派遣者数(累計)		
		5人	5人(10人)	5人(15人)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	科学技術振興総合推進事業			予算事業名	科学技術振興総合推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	2,750	3,911	県単等	直接実施	7,006
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>研究員育成事業、研究開発成果の権利化推進、知的財産関連の講習会を行った。また、外部専門家を活用した知的財産相談体制を継続した。</p>				<p>研究員育成事業、研究開発成果の権利化推進を行う。また、外部専門家を活用した知的財産関連の講習会、知的財産相談体制を継続する。</p>		

活動指標名	県立試験研究機関研究員の研修等への派遣者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	5人	4人	8人	5人	100.0%	順調	県立試験研究機関の研究員を国内研修へ8名派遣し、研究員の資質向上を促進するとともに、外部専門家（弁理士）との相談体制を継続し4件の相談を行い、研究成果の権利化及び活用推進に向けた取り組みを推進した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>取組の効果として、派遣した研究員が自身の研究課題に資する研修を自ら計画し、研修において知見を習得することで研究開発レベルの向上に寄与した。外部専門家を活用した取組については、知的財産に係る相談が4件有り、適切な助言を行うなど有効に活用されている。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 知的財産に関するセミナーの実施や、外部専門家（弁理士等）との相談体制の構築及び周知を行うことにより、沖縄県試験研究機関における知的財産の活用を促進する。 研究員のキャリアやスキルを向上させるため、新型コロナウイルスの影響も注視しながら、国内外への派遣研修を引き続き行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産に関するセミナー、外部専門家（弁理士等）との相談体制の周知を行った。 研究員のキャリアやスキルを向上のため、新型コロナウイルス感染症の影響を注視しつつ、国内研修に8名派遣した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	付加価値の高い製品及び技術の開発等にあたって、関係部署の研究員を対象とした派遣研修を行い、知識の習得を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	外部専門家（弁理士等）との相談体制の周知、セミナー開催等を行うことにより、沖縄県試験研究機関における知的財産の知識の習得と活用を促進する。
② 連携の強化・改善	研究員のキャリアやスキルを向上させるため、国内外への派遣研修を引き続き行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	O I S T等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	②研究成果等の知的財産化・技術移転の推進
			施策の小項目名	○付加価値の高い製品・技術の開発
主な取組	沖縄県産業振興重点研究推進事業		対応する成果指標	県内からの特許等出願件数(累計)
施策の方向	・ 県立試験研究機関については、新たな産業の創出や地場産業の高度化に結び付けるため、産業界や県民ニーズ等を見据えた付加価値の高い製品・技術の開発に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
本県の産業振興に資するため、県立試験研究機関において重点的に取り組む試験研究課題を試験研究評価会議において決定し、研究開発資源を集中的に投入して研究を推進する。	県,大学,研究機関,事業者等	沖縄県試験研究評価システムを活用した研究テーマの設定、連携研究の促進			
		重点研究課題件数(累計)			
		7件	7件(14件)	7件(21件)	
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課		【 098-866-2560 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県産業振興重点研究推進事業			予算事業名	沖縄県産業振興重点研究推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	33,489	33,182	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	32,920
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
継続する重点研究課題6件に、令和4年度から開始した2件を加えた合計8件の重点研究課題を支援した。				継続する重点研究課題6件に、令和5年度から開始の1件を加えた合計7件の重点研究課題を支援する。		

活動指標名	重点研究課題件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	8件	8件	8件	7件	100.0%	順調	試験研究評価会議において決定した研究課題8件を支援し、研究を推進した。 研究実施機関：農業研究センター、森林資源研究センター、水産海洋技術センター、海洋深層水研究所、工業技術センター

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画8件に対し8件の研究課題を支援したことから「順調」と判断した。
いずれの重点研究課題も、令和4年度の目標どおり研究を実施したと進捗管理されており、研究成果による産業振興が期待される。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各研究機関と連携して、試験研究評価システムを効率的に運用する。 多様化、複雑化した課題に対しては、各分野の複数の研究機関が連携して重点的に取り組む研究課題の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化、複雑化した課題に対応するため、各研究機関が連携して取り組む課題、または各研究機関と大学、企業等が連携して取り組む課題に対し研究推進を図れるよう試験研究評価システムの見直しを行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	当システムは、県立試験研究機関が実施する研究課題を評価対象としており、予算についても国等によるものなど複雑化しているが、研究課題を適切に評価する必要があるため、当システムを効率的に運用する。	② 連携の強化・改善	引き続き、各研究機関と連携して試験研究評価システムを効率的に運用する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	③大学発ベンチャー等の創出と高度研究人材等の活用等に向けた環境整備
			施策の小項目名	○大学発ベンチャー等の創出に向けた環境整備
主な取組	大学発ベンチャーの創出支援		対応する成果指標	大学発ベンチャー等創出数(累計)
施策の方向	・継続的なイノベーションの創出に向けては、県内大学等に潜在する研究成果を掘り起こし、その成果を事業化へつなげるベンチャー企業やスタートアップの存在が重要であることから、事業化に向けた研究等の継続的な支援、起業・安定経営・事業拡大までの各ステージに応じた課題解決支援、インキュベーション施設の入居や資金獲得支援など、支援機関等と連携し、大学発ベンチャー等が生まれ育ちやすい環境整備を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
イノベーション・エコシステムの構築に寄与するため、起業を目指す研究者等の発掘を行い、事業化における課題解決を目的としたアドバイス支援を行うことで、県内大学等の優れた研究成果等を活用した大学発ベンチャーの創出を促進する。	県,大学等,支援機関	大学発ベンチャーの起業を見据えた研究支援、事業化における課題解決を目的としたアドバイス支援		
		アドバイス支援が一体となった大学等研究の支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名				大学発ベンチャー創出志向型研究支援事業			
主な財源		実施方法		R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		
一括交付金 (ソフト)		委託			19,999		
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
<p>起業を志向する研究者等の発掘を行い、アドバイス支援を2件実施した。また起業に関心を示す研究者等を増やすため、起業セミナーを3回実施した。</p>				<p>大学発ベンチャー創出に向けた支援を3件以上実施する。また、起業に関心を示す研究者や学生を増やすために、起業セミナー等を1回以上実施する。</p>			
活動指標名	アドバイス支援が一体となった大学等研究の支援件数 (累計)			R4年度		進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	-件	-件	2件	1件	100.0%	順調	県内大学等で産学官連携を担う部署や関係機関に対してヒアリングを実施し、起業を志向する研究者、事業化の可能性のある研究シーズの発掘を行い、2件のアドバイス支援及び3回の起業セミナーを開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和4年度の支援件数の目標値1件に対し、2件の支援を実施したことから進捗状況は順調と判断した。その取組の結果、大学発ベンチャーの創出の促進が図られた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
研究マネジメント、事業化支援に長けたコーディネーターと連携し、大学発ベンチャーの創出を見据えた事業化研究の支援及び経営スキルの醸成を目的としたハンズオン支援を行う。	3名のコーディネーター人材を活用し、事業化に向けた意欲の高い研究者2名に対して、起業に向けたハンズオン支援を行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	県内の大学研究者等には、自身の研究成果を事業化することに関心を示す研究者が少ないため、研究成果を事業化することの有用性や利益還元などのメリットを伝える取組が必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	起業に関心を示す研究者等を増やすための起業セミナー等を行うとともに、「共同研究ベンチャー」や「技術移転ベンチャー」の創出を促進するため、企業等とのマッチングにも取り組んでいく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	③大学発ベンチャー等の創出と高度研究人材等の活用等に向けた環境整備
			施策の小項目名	○高度研究人材の活用等に向けた環境整備
主な取組	関係機関と連携した高度研究人材の活用促進		対応する成果指標	大学発ベンチャー等創出数(累計)
施策の方向	<p>・将来の研究活動を担う創造性豊かな高度研究人材等の活用が重要であることから、大学や県内企業等の関係機関と連携し、高度研究人材等と県内企業等とのマッチング支援など、これらの人材が県内で活躍できる環境整備に取り組めます。さらに、産業界等のニーズやその変化に対応できる人材やマーケティング等の経営人材など、研究開発を支える人材の確保に向けて取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
大学等の高度研究人材等の研究内容等や民間企業における高度研究人材等を活用した研究ニーズをリサーチし、県内企業と高度研究人材等のマッチングを支援する。	県,大学等,県内企業等	県内企業等の研究開発ニーズと合う高度研究人材等のマッチング支援		
		高度研究人材等を活用した研究支援件数(累計)		
		公募実施	2件	2件(4件)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	高度研究人材等活用促進事業			予算事業名	高度研究人材等活用促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		15,005	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	13,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
マッチング支援として、学生と県内企業をつなぐイベントを9回実施し、3件のマッチングに繋がった。				マッチング支援として、学生と県内企業をつなぐイベントを4回以上実施する。		

活動指標名	高度研究人材等を活用した研究支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	公募実施	公募実施	100.0%	順調	マッチング支援として、学生と県内企業をつなぐイベントを9回実施し、3件のマッチングに繋がった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

支援対象企業を公募し、高度研究人材等とのマッチング支援を実施したところ、3件のマッチングに繋がったことから順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	OISTや県内の各大学、高専等が輩出する高度研究人材等を県内で十分に活用するために、県内企業と高度研究人材等のマッチングを支援する。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	県内へのバイオ産業関連企業等の集積に伴い、科学技術等専門人材の需要が増加しているが、人材確保に苦慮している企業が多数ある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	高度研究人材等への県内企業等の研究及び採用等の周知や県内企業等の高度研究人材等に対する理解が不足しているため、相互理解が適切に行われるよう双方の要望等を調査し、効果的なマッチング支援を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	④社会課題解決型の科学技術プロジェクト創出支援
			施策の小項目名	○社会課題解決に向けた科学技術プロジェクトの創出支援
主な取組	社会課題解決型の科学技術プロジェクト創出支援		対応する成果指標	大学等発社会課題解決型の科学技術プロジェクト応募件数(累計)
施策の方向	・県内大学等や研究機関が持つ研究成果や技術等を社会課題解決や社会実装につなげるため、社会課題解決に向けた科学技術プロジェクトの創出支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内大学等や研究機関が持つ研究成果や技術等を社会課題解決や社会実装につなげるため、大学等の研究成果を活用した社会課題解決型の科学技術プロジェクト創出に向けた取組を実施する。	県,大学等,協働実施者	大学等の研究成果を活用した社会課題解決型の科学技術プロジェクト創出に向けた取組		
		県内大学等による社会課題解決型の試験的科学技術プロジェクト支援実施件数(累計)		
		4件	5件(9件)	5件(14件)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	大学発SDGs社会課題解決型プロジェクト創出事業			予算事業名	大学発SDGs社会課題解決型プロジェクト創出事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	—	26,292	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	33,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内大学等の研究者による社会課題解決型の試験的科学技术プロジェクト4件を支援した。				県内大学等の研究者による社会課題解決型の試験的科学技术プロジェクト5件を支援する。		

活動指標名	県内大学等による社会課題解決型の試験的科学技术プロジェクト支援実施件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	4件	4件	100.0%	順調	県内大学等の研究者による社会課題解決型の試験的科学技术プロジェクトを公募し、4件について委託することで支援を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>県内大学等の研究者による社会課題解決型の試験的科学技术プロジェクトについて計画通り4件の支援を行い目標を達成した。当該活動を通して、社会課題解決型プロジェクトの創出を支援した。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
-	<p>令和4年度から新規事業であったため、具体的事業スキームの構築に時間を要したが、予定通りの試験的科学技术プロジェクト数を支援した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>令和4年度から開始された事業であったため、具体的事業スキームの構築に時間を要し、試験的科学技术プロジェクトの委託調査期間が3ヶ月程度と十分に確保できなかった。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>試験的科学技术プロジェクトの委託調査期間等を確保できるように、早期に公募を開始する体制を構築する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-ア	OIST等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施策	④社会課題解決型の科学技術プロジェクト創出支援
			施策の小項目名	○科学技術による社会課題解決に向けた体制の構築
主な取組	社会課題解決型の科学技術プロジェクトの周知・啓発		対応する成果指標	大学等発社会課題解決型の科学技術プロジェクト応募件数(累計)
施策の方向	・県内大学等の人文、社会科学と自然科学の融合による「総合知」を活用し、科学技術による社会課題解決に向けた体制の構築の取組を促進するとともに、「沖縄の社会課題」を提示する仕組みを確立し、県内企業や地域と連携するなど、SDGsの観点を踏まえた新しい形の産学官金連携による社会課題解決に向けた体制の構築に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
科学技術による社会課題解決に向けた体制の構築を図るため、県内の大学等の研究者等に向けた周知・啓発を図る。	県,大学等,協働実施者	大学等の研究者等に向けた周知・啓発		
		社会課題解決型の科学技術プロジェクトに係るセミナーの開催件数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	企画部科学技術振興課	【 098-866-2560 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	大学発SDGs社会課題解決型プロジェクト創出事業			予算事業名	大学発SDGs社会課題解決型プロジェクト創出事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	—	26,292	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	33,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
社会課題解決型の科学技術プロジェクトに係るセミナーを3回開催した。				社会課題解決型の科学技術プロジェクトに係るセミナーやワークショップ等を1回開催する。		

活動指標名	社会課題解決型の科学技術プロジェクトに係るセミナーの開催件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	-回	3回	1回	100.0%	順調	県内の大学等の研究者等に向けて、セミナー・講演会を3回実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>社会課題に関心を示す県内大学等の研究者等をより一層増やすことを目的に、セミナー・講演会を目標以上に3回開催し、目標を達成した。これにより、延べ175名の研究者等がセミナー等へ参加し、社会課題への興味関心が高まった。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
-	より多くの県内大学等の研究者等に、社会課題への興味関心を高めてもらうために、セミナー等を目標数以上に開催した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和4年度のセミナー等は主に先進事例の報告等による情報伝達にとどまり、研究者等の興味関心を誘発する一定の効果は期待される一方、主体的な取組にまでは至っていない可能性がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	先進事例の報告等による情報伝達を引き続き行い、興味関心を示す研究者の裾野を広げつつ、研究者が主体的取組を始めるきっかけをつくれるよう、ワークショップ等の対話型の取組を追加する。